

別紙

分科会及び全体セッション構成

※平成26年8月19日発表済

| 分科会      | 議題テーマ                           | 内 容                                                                                                                                                                                                                   | コーディネーター                                        | パネリスト                                                                                                                                                                                                               |
|----------|---------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 産業・技術    | 都市の省エネ・創エネ：ニーズとシーズの邂逅からソリューションへ | 本分科会では、都市が抱える環境課題を共有するとともに、都市において行政機関が策定すべき政策及び産業界が取り得る環境保全技術について、各セクターの取組の現況を紹介する。<br>また、議論を通じて、都市の省エネ・創エネの観点から「東アジアの持続可能な低炭素都市づくり」に向けたパートナーシップの構築に資することを目指す。                                                        | 西本 清一（にしもと せいいち）<br>（京都高度技術研究所理事長、<br>京都大学名誉教授） | ・王 勝軍（オウ ショウグン）（中国・西安市科学技術局科技交流处处长）<br>・ファン ジョンスン（韓国・ナショナルITポリシーグループ代表）<br>・中本 成美（なかもと なるみ）（北九州市環境局環境未来都市推進室長）<br>・重松 千昭（しげまつ ちあき）（京都府政策企画部理事）<br>・横田 久幸（よこた ひさゆき）（京都市産業観光局新産業振興室グリーンイノベーション創出支援担当部長）               |
| 市民生活・くらし | ひろめたい、つなげたい、持続可能で豊かな生活とくらし      | 持続可能な都市の構築のためには、化石エネルギー依存から脱却し、環境負荷を少なくすると同時に、心の豊かさや生活の質を向上させていく必要がある。そのためには、地域の環境保護活動、省エネや自然エネルギー普及活動の活性化が必要である。本分科会では、日本・中国・韓国で身近な環境問題や自然エネルギー普及に取り組んでいる事例を共有するとともに、議論を通じて今後の方向性を模索し、将来的に国を越えた連携につなげていくことを目指す。      | 新川 達郎（にいかわ たつろう）<br>（同志社大学政策学部教授）               | ・陳 永松（チン エイショウ）（中国・雲南エコネットワーク代表）<br>・チェ・ギルソン（韓国・（社）光州広域市気候変動対応センター事務局長）<br>・符 鋼戦（フ コウセン）（中国・同済大学教授）<br>・塚平 賢志（つかだいら けんじ）（飯田市民協働環境部環境モデル都市推進課長）<br>・佐伯 康介（さえき こうすけ）（京都市地球環境・エネルギー政策監）                                |
| 教 育      | 環境教育が生み出し、育む市民の自立性やパートナーシップ     | 持続可能な都市づくりを進めるためには、市民の主体的な参画が必要不可欠である。市民が活動するための枠組みを市民に押し付けるのではなく、自立的に活動を進めることができる市民をどのように育成していくか、そのための枠組みを市民とのパートナーシップでどのようにデザインできるかが鍵となる。本分科会では、パネリストの国・自治体での取組や課題等を踏まえ、東アジアでのノウハウの共有と協働を進めていくことを目指す。               | 永橋 爲介（ながはし ためすけ）<br>（立命館大学産業社会学部教授）             | ・張 亜楠（チョウ アナン）（中国・国家環境保護部宣伝教育センター）<br>・周 観明（シュウ カンメイ）（中国・広東省環境保護庁宣伝教育センター副センター長）<br>・ダワー・ハタン エンフバト（モンゴル・ウランバートル市公共サービス部主任）<br>・郡 護（こおり まもる）（武蔵野市環境部長）<br>・藤野 純一（ふじの じゅんいち）（国立環境研究所主任研究員）                            |
| 都市づくり    | 都市間協働による東アジアの持続可能な低炭素都市づくり      | 地球環境問題は、多くが地域の経済活動や生活に起因するものであり、地域社会にとって最も身近な行政組織である地方自治体が果たす役割と責任は非常に大きい。本分科会では、イクレイ東アジア地域理事で自治体における政策決定者（市長、副市長）等がそれぞれの環境面での課題等を共有するとともに、自治体の果たすべき役割について議論し、「持続可能な低炭素都市づくり」に向け、東アジアの自治体間の環境分野における国際協力を一層推進することを目指す。 | 村松 伸（むらまつ しん）<br>（総合地球環境学研究所教授）                 | ・ヨム テヨン（韓国・水原市長（イクレイ世界理事・イクレイ東アジア地域理事））<br>・チョン ヒョスン（韓国・ソウル市副市長（イクレイ東アジア地域理事））<br>・劉 世芳（リュウ シファン）（台湾・高雄市副市長（イクレイ東アジア地域理事））<br>・潘 家華（パン チャーファ）（中国・社会科学院教授（イクレイ東アジア地域理事））<br>・門川 大作（かどかわ だいさく）（京都市長（イクレイ東アジア地域理事会議長）） |
| 全体セッション  |                                 | 各分科会のコーディネーター4名及び安成哲三 総合地球環境学研究所長が分科会の内容等について報告、議論し、浜中裕徳 イクレイ日本理事長が議論をまとめる。その議論の結果を基に東アジアにおける環境保全に関する「宣言文」を作成し、発表する。                                                                                                  | 浜中 裕徳（はまなか ひろのり）<br>（イクレイ日本理事長）                 | ・安成 哲三（やすなり てつぞう）（総合地球環境学研究所長）<br>・西本 清一（にしもと せいいち）（京都高度技術研究所理事長、京都大学名誉教授）<br>・新川 達郎（にいかわ たつろう）（同志社大学教授）<br>・永橋 爲介（ながはし ためすけ）（立命館大学教授）<br>・村松 伸（むらまつ しん）（総合地球環境学研究所教授）                                              |